

第 1 1 回 議会報告会

平成27年1月18日から2月26日、市内3会場（窪川原集会所、村岡公民館、小浮新田多目的集会所）で議会報告会を、2団体（笹神商工会青年部、調理ボランティア「愛クック」）と意見交換会を開催しました。

各会場で市民の皆さまからいただきましたご意見・ご要望について、執行部から回答を求めましたのでご報告します。

ご意見（行政への要望）に対する執行部からの回答

件名	① 消雪パイプの設置について	窪川原
		<p>本市の道路除雪業務は、機械除雪を基本に計画しており、家屋が両側に連担する箇所や道路幅員が狭いなど、機械除雪作業が困難な箇所限定し、消雪施設の整備により補完していきたいと考えております。</p> <p>また、多くの自治会の皆様から消雪施設整備のご要望をいただいております。その全てを整備することは、難しいのが現状であります。</p> <p>窪川原自治会内の市道につきましては、通学路や地域の生活道路としても重要な路線ではありますが、機械による除雪が可能のため、現状では早急な消雪施設の整備は困難な状況であります。</p> <p>当面は適時、適切な機械除雪作業を行い、少しでも皆様の負担の軽減が図られるよう除雪業者への指導を徹底して参ります。</p>
	担当	産業建設部 建設課 建設係 (内線311)

件名	② 合併後の京ヶ瀬地区について	窪川原
<p>市では、合併時に策定された「新市建設計画」を尊重しながら、市の速やかな一体性の確保とともに、地域の均衡ある発展と魅力ある地域づくりや住民福祉の向上、行政サービスの高度化等への取組を推し進めているところであります。</p> <p>こうした取組による事業の実施に際しては、国からの財政支援がある合併特例債を活用することができ、市の財政負担を軽減する措置が設けられております。</p> <p>これまで、京ヶ瀬地区においては、この合併特例債を活用して、道路及び消費パイプの整備、JR京ヶ瀬駅駐車場の整備、京ヶ瀬中学校耐震化改修などの事業を実施し、安全安心な生活環境づくりに取り組んで参りました。</p> <p>今後の取組みとしては、道の駅の整備について、施設にどのような機能を持たせるかなどの検討を加速させていくこととしております。</p> <p>合併後の市の財政状況は、行政運営の効率化など行革努力により人件費は減少していますが、人口減少、高齢化により福祉関係経費が増加するなど、依然として厳しい状況にあります。</p> <p>今後は、住民ニーズを踏まえながら「選択と集中」による施策・事業の実施により、引き続き魅力あるまちづくりに取り組んで参ります。</p>		
<p style="text-align: center;">担当 総務部 市長政策課 企画経営係 (内線261)</p>		
件名	③ 制限速度および規制看板の設置について	窪川原
<p>速度制限その他規制看板（標識）につきましては、公安委員会の管轄となるため、その窓口となる阿賀野警察署交通課へ、この度の要望について内容を伝えさせていただきました。</p> <p>阿賀野警察署としては、集落内の道路に速度規制その他規制をかけることで、地元住民の方々も制限を受けるため、交通の状況をみながら対応したいとのことです。</p> <p>窪川原集落内には、新潟市方面へ向かう市道が複数路線あるため、自治会・警察・市で協議し、具体的な路線や範囲等を確認し、取り組みを図って参ります。</p>		
<p style="text-align: center;">担当 総務部 総務課 地域安全係 (内線262)</p>		

件名	④ 地域別代表者の議論の場について	窪川原
<p>地域審議会は、新市の均衡ある一体的な発展を図る目的で設置したものでありますが、合併から10年を経過するなかで、その設置目的が達成されたと判断し、平成26年3月に廃止をいたしました。</p> <p>これにより、合併前の旧町村単位で地域づくりを議論する法律に基づく組織はなくなりましたが、地域づくりを進めるためには、これに代わる住民自らが地域づくりに参画する地域自治組織をつくることが重要であると認識しております。</p> <p>しかしながら、現状においては、このよう組織の活動の担い手が不足していることは否めないことから、まず、取り組まなければならないことは、自発的に地域課題の克服に取り組もうとする“市民力”を育て、増やすことであると考えております。</p> <p>そのため、市民活動やボランティア活動に参加しやすい環境整備に取り組むこととしており、その手段として、市民活動団体、ボランティア団体、地域団体等が自主的・自発的に行う公益的な活動に対しての補助金の交付に加え、活動する人材を増やし、市民活動等への参加を促すための事業を実施することとしております。</p>		
担当 総務部 市長政策課 企画経営係 (内線261)		
件名	⑤ 消雪パイプ用井戸の点検について	村岡
<p>ご要望の消雪パイプにつきましては、毎年降雪前にパイプ内の残留した堆積物を排出した後で、散水ノズルの点検を行っております。</p> <p>新年度につきましても、降雪前に点検を実施しますので、井戸についても水の出が悪い場所を確認するとともに粘土や泥の上がってくる状況があれば、点検を検討したいと考えております。</p>		
担当 産業建設部 建設課 維持緑地係 (内線313)		

件名	⑥ C型肝炎患者の救済について	村岡
<p>C型肝炎の患者数の把握につきましては、患者の個人情報に関係から、県から市町村への情報提供が難しい状況にありますので、ご理解をお願いいたします。</p> <p>なお、平成22年1月に施行されました肝炎対策基本法により、県でもさまざまな助成制度を設けており、新発田保健所が窓口となっております。</p> <p>また、健康面での相談に関しては、健康推進課でも行っておりますので、ご利用ください。</p>		
<p style="text-align: center;">担当 民生部 健康推進課 成人係 (内線611)</p>		
件名	⑦ 国、県の事業の広報掲載について	小浮本村、小浮新田、野田
<p>国、県の事業・工事の紹介につきましては、広報紙で全て紹介できれば好ましいと考えますが、紙面の都合もあるため、国・県から情報提供を受け、市民の皆様が大きく関係する事業・工事を抜粋して掲載していきたいと考えております。</p> <p>また、現在、「大日原演習場訓練予定」を掲載しておりますが、今後については、阿賀野川左岸河川敷で行われている「落下傘降下訓練計画」についても、掲載していきたいと考えております。</p>		
<p style="text-align: center;">担当 総務部 市民協働推進課 広報広聴係</p>		
件名	⑧ アンケート実施後のアクションについて	笹神商工会青年部
<p>市では、市民誰もがまちづくりに参画できるよう市民参画の機会を保障し、施策の企画立案、実施及び評価の過程において市民参画を積極的に推進することとしており、その方法の1つとして市民アンケート調査を実施しております。</p> <p>寄せられた回答は、施策の企画立案など市政運営に十分活用をさせていただいているところであります。</p> <p>また、調査結果は、ホームページなどを利用して公表することとしております。</p>		
<p style="text-align: center;">担当 総務部 市長政策課 企画経営係 (内線261)</p>		

件名	⑨ 今後の子育て支援策について	笹神商工会青年部
<p>子育て支援策については、物的、人的、金銭的支援が考えられますが、そのニーズは保護者個々の事情により相違があるものと考えております。</p> <p>市といたしましては、安心して子どもを産み育て、仕事ができる環境を整えることが優先すべき課題であるとの認識のもと、認可保育園における特別保育の充実や、病児保育室の設置、子育て支援センターの増設、小学校就学後における放課後児童クラブの拡充、放課後子供塾等の開設のほか、就学援助については認定基準の緩和や援助費目の拡充、奨学金制度については入学準備金の創設や申請手続きの改善などを行って参りました。</p> <p>保育料については、国の基準では保育園の運営に要する費用の40%を保護者負担とするよう定められておりますが、阿賀野市では27%程度に抑え保護者の負担軽減を図り、その差を市で負担しております。</p> <p>月額に換算しますと、国基準の平均保育料27,058円に対し、市では平均保育料を18,385円とし、その差額である8,673円を市が負担しております。</p> <p>さらに、子ども医療費助成においても、子どもの数に関わらず中学卒業までの助成を行い、子どもが3人以上いる場合については高校卒業までの助成を行っております。</p> <p>平成27年度においては、新たな子育て支援策として、「紙おむつプレゼント事業」や「妊婦さん応援事業」などの取組も計画しております。</p>		
<p style="text-align: center;">担当 民生部 社会福祉課 児童福祉係 (内線240)</p>		